

Web デザインの  
進化のかたち

Web と文字の新しい潮流

## 文字の新サービス

書体開発の大手会社である  
モリサワが、クラウドフォント  
サービスと銘打ち、

「Typesquare」によるWeb  
フォント向けのネット配信  
サービスを発表しました。

「Webフォント」とは何か。  
そして、それが今後のWebデ  
ザインにどう影響をもたらす  
のでしょうか。

Webと文字の  
悩ましい関係

Webサイトのインターフェ  
イス設計で大きなネックとな  
りえる物の一つに「文字」の扱  
いがあります。

本来、HTMLは文章構造を適  
切に明示するものであり、それ  
は視覚的・装飾的な「デザイン」  
とは切り離されるべきという思

想で設計されています。

Webサイトは紙上で読む物  
ではなく、基本的に画面上で表  
示される「情報」であり、Web  
上の文章は美しく体裁を整え  
るような「タイポグラフィ」では  
なく、厳格な「文章構造」として  
存在しています。

しかし、インターネットの普  
及・技術の進化と共に「イン  
ターフェイス」の役割、そして  
視覚的な「デザイン」が持つ領  
域は大きくなり、それはCSSや  
ブラウザの進化によってさら  
に自由度を増していきました。

「正しいHTMLを志向する  
ならば文字はテキストで記述  
されるべきですが、ユーザー  
環境によって変わる文字の画  
面表示や書体の選択肢の少な  
さ等、デザイン上の問題を回  
避するために、テキストを画  
像やFlashにする等の手段が  
講じられてきました。これに  
より、近年のWebデザインに  
おける文字は美しい物へと変  
化しましたが、これらの方法  
は必ずしも最適ではなく、  
ユーザビリティやSEO等の  
様々な問題と隣り合わせです。  
しかし、こうした問題をクリ  
アーし、美しく文字を表示す  
る技術が現れました。

## Webと文字の新時代

それが、CSS3で勧告された  
「Webフォント」と呼ばれる機  
能(@font-face)※です。

この機能により、HTMLのテ  
キストにWeb上のフォント  
ファイルを指定してブラウザで  
表示させる事が可能となります。  
ユーザーのコンピュータに入  
っていないフォントでも表示  
でき、「デザイン面での自由度や、  
ユーザビリティの格段の向上  
が期待されています。」

Webデザインの進化は、常  
に技術の進化と共にあります。  
画面で読む「文字」は、Webの  
技術的進化や、電子書籍・ス  
マートフォンの普及と共に新  
たな局面を迎えています。

「フォント配信」という分野  
に書体開発の大手会社が参入  
するという事が「Webサイト  
のインターフェイスにおける  
「タイポグラフィ」の新たな時  
代を予感させます。」

文化メディアワークスでは、  
実際の制作現場を通じて、常  
に新しい技術のリサーチを行  
っています。

フォントプラス  
webfont.fontplus.jp  
モリサワ (Type Square)  
www.morisawa.co.jp

(笹目 千晶)

※@font-face自体は以前から存在していた。CSS2.1で一時的に廃止

喜んでもらえるか。  
美味しいか。  
良いできか。  
毎日汗をかいて  
仕事をしている  
人がいる。

そうした人との  
出会いがすべて。

いばらきを  
を  
デザインします。

